

イガイの仲間

A close-up photograph showing a large, dark, textured object, possibly a piece of food like a mussel shell or a decorative item, resting on a surface. The object has a rough, mottled texture with shades of brown, black, and reddish-brown. It appears to be partially open or broken. In the background, there are some small, scattered pieces of debris or other materials.

水族館へ行こう！

京都大学白浜水族館

生物は細かく名前が付けられて
られるものとか人の関心の高い
との言説でも同じだが、食へ

とある。

英語で特別に「Musseel」といふ。白浜水族館の一枚質の「Mystillus edulis」には「ムラサキイガイ」という和名が付いているが、その種の学名は「Mystillus edulis」であるとされてきた。

最近田辺鷗で増えているミドリイガイ（水槽番号2017）がつたと考えられる。この種は大西洋が模式產地で、海運の發達に伴つて世界中に広がったと考えられている。

州産のものが少ないのでした。それをくれる人を立つて最近「ミヅカ」を始めた。

の種と同じとされているもの少なくないが、慎重な検討しないと、後の研究に悪影響を与えるという警鐘を鳴らしておきたい。

（京都）
えで、何と
は筆舌に
陸上で摩
か食用に
環が阻害
的に除去
例えども
や放水管

は原子力発電所の取水管
官に付くと、冷却水の循
吉される。そのため定期
去しているのだが、まさ
にするわけにもいかず、
腐るに任せている。それ
に尽くせない異様な光景
とかできないものかと考
る。

7

白山義久

の研究によって、日本で「ムラサキイカ」と呼んでいる種類では、地中海産の同属別種であることが分かった。

これまで田辺湾では冬の低水温で死滅してしまうと考えられてきたが、近年の海水温上昇の影響で、越冬することが可能になつたようだ。3、4年成育した

例えば原子力発電所の取水管や放水管に付くと、冷却水の循環が阻害される。そのため定期的に除去しているのだが、まさか食用にするわけにもいかず、陸上で腐るに任せている。それは筆舌に尽くせない異様な光景で、何とかできないものかと考えている。

食用貝、所変われば厄介者